

研究テーマ 人とのつながりをめざす自己表現力の育成～「言葉の力」を育む授業づくり～  
 低学年 語り合う力 (話すこと) : 伝えたい自分の考えや思いを順序よく話す  
 聴き合う力 (聞くこと) : 友達の話最後まで集中して聞き、感想をもつ

学年目標 : 1. 安心して自分を表現する子 2. すずんで友だちと関わる子 3. 一生懸命がんばる子

月		4	5	6	7
育てたい力	話す・聞く	<b>【話す】</b> ・先生や友達に、自分の経験や思い、困ったことなどを自分なりの言葉で伝えることができる ・自分の気持ちや体験など話したいことが相手に伝わるように、声の大きさや速さを考えて話すことができる <b>【聞く】</b> ・相手が伝えたいことや大事なことは何か考えながら話を聞くことができる ・話を聞いて、相手の考えと自分の考えの違いや同じところに気付くことができる			<b>【話す】</b> ・自分の考えを、簡単な理由をつけて話すことができる ・出来事や体験などを、その時の感情も含めて話すことができる <b>【聞く】</b> ・話を聞いて、簡単な感想を言ったり質問したりすることができる

生活科を中心とした単元構成

**がっこう だいすき**

**「みんなとなかよくなりたいな」(4)**  
 「みんなとなかよくなりたいな」(生)  
 「こえをとどけよう」(国)  
 「よろしくね」(国)  
 「どうぞよろしく」(学)  
 「かきたいものなあに」(図)  
 「どんなうたがあるかな」(音)  
 「なかまづくりとかず」(算)

**「がっこうたんけん」(12)**  
 「がっこうのことがしりたいな」(生)  
 「ともだちとがっこうをたんけんしよう」(生)  
 「がっこうにいるひととなかよくなろう」(生)  
 「がっこうでみつけたことをつたえよう」(生)  
 「みんなにはなそう」(国)  
 「としょしつをつかいかた」(学)  
 「ひととつながることば」(国)  
 「たのしいがっこう」(道)  
 「ゆうぐあそび」(体)

**「こうえんへいこう」(7)**  
 「みんなであそぶところがある」(生)  
 「みんなのこうえんであそぼう」(生)  
 「こうていでくさばなやむしをさがそう」(生)  
 「かきたいものなあに」(図)

**なつが やってきた**

**「みずであそぼう」(4)**  
 「みずであそぼう」(生)  
 「たのしかったことをつたえよう」(生)  
 「おってたてたら」(図)  
 「こんなことしたよ」(国)

**きれいに さいてね**

**「きれいにさいてね」(9)**  
 「たねをまこう」(生) 「せわをしよう」(生) 「やさいをそだてよう」(生)  
 「はなのようすをつたえよう」(生) 「たねをとろう」(生)  
 「をつかおう」(国) 「ちいさい」(国) 「ちいさい

園での活動	集団遊び 読み聞かせ 自分の名前を言う 文字に興味をもつ 好きなものや経験を絵に描く	ICT機器を使った調べものや映像の視聴 自分のクラス以外の部屋で活動する 職員の部屋やホールなどへの出入り 階段の上り下り 担任以外の保育者や講師との関わり 和式トイレを使う 遊具遊び	野菜の栽培活動 プール遊び 砂場での水遊び 夕涼み会 お楽しみ保育 色水遊び 絵の具遊び 染め物 七夕 水に浮いたりもぐったりする
-------	--	--	---

話す・聞く活動の基盤となる園での経験や学び、指導上の配慮事項

園での経験・学び	話す・聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会や帰りの会などで、友達の前で発表する</li> <li>絵本の読み聞かせに親しみ、朗読したり劇遊びをしたりする</li> <li>朝の会や帰りの会、健康診断や歯科検診などで自分の名前を言う</li> <li>お気に入りの絵本を繰り返し読んだり絵を見たりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員室や他のクラスへ伝言や物を取りに行く</li> <li>友達と教え合い、できたことを喜び合う</li> <li>自分達で遊びを工夫して発展させる</li> <li>自分達で話し合い、チームのグループ分けをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異年齢と行事や遊びを通して交流する</li> <li>自分達で考えたお店を、友達と一緒に作り上げる</li> <li>友達と一緒に作業したり遊んだりする</li> <li>お店屋さんごっこなど遊びの中の担当や順番を自分達で決める</li> </ul>
	学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかったことや、気付いたこと、伝えたい出来事などを相手に伝えようとする</li> <li>物語を聞くことや想像することの楽しさを味わい、登場人物やストーリーに共感したり、簡単な感想をもったりする</li> <li>保育者の見守りや声掛けのもと、友達と考えを伝え合い協力して作業をしたり遊んだりすることの楽しさを味わう</li> <li>意見が違う時には、保育者と一緒に相手の気持ちを友達に尋ねて、相手の気持ちを理解しようとして仲良く遊ぶ方法を考えたりする</li> <li>保育者の仲介のもと、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりして、折り合いをつけながらルールや遊び方を工夫していく</li> <li>分からないことや困ったことを、保育者に伝えたり保育者と一緒に友達に尋ねたりして解決しようとする</li> </ul>		

指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が、安心して話ができる雰囲気を作る</li> <li>発表の形式や返事の仕方にこだわらず、児童が自分の思いや考え、経験や出来事などを伝えようとする姿勢を認め、励ます</li> <li>話し方や聞き方について学級で話し合い、発表の仕方や相手意識について考えさせる</li> <li>大事な言葉を復唱させたり、大事なことは何か全体に問いかけたりして、話し手が伝えたいことや大事なことを確認させる</li> <li>自分の考えと相手の考えが、違うか似ているかを児童に問いかけるなどして、比較することを意識させながら聞かせる</li> <li>児童が伝えたいことを絵や文字でも表すことができるよう、表現方法を身に付けさせる</li> <li>教師が補足や説明をする前に、児童の言葉で言えるように「詳しく言えるかな」「どう思う？」など投げかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自分の考えや体験に、理由や感情を付けて話ができるよう、「どうして？」「なぜ？」など、切り返しの発問をする</li> <li>児童が伝えたいことを詳しく伝えられるよう、色々な言葉や表現を身に付けさせる</li> <li>児童が話を聞いた後に、分からないことや知らないことを質問したり、感想を言ったりする時間をとる</li> <li>児童が話す内容の充実や声の大きさ、話し方、聞き方等、できるようになったことを評価し、自信をもって話したり聞いたりすることができるようにする</li> </ul>
----------	---	---